



山中 理沙 (Risa Yamanaka)

- 2018年4月 東京工業大学第6類入学
英語で教養の授業を受けられるクラスに参加
- 2021年前期 留学生とタンデムを行う
- 2022年3月 東京工業大学環境・社会理工学院建築学系卒業
グローバル理工人育成コース中級修了
- 2022年4月 東京工業大学大学院環境・社会理工学院建築学系建築学コース入学
- 2022年8月～
- 2023年7月 スウェーデン王立工科大学へ派遣交換留学
- 2025年3月 大学院卒業予定
グローバル理工人育成コース上級修了予定

講演タイトル： 『使える機会を使い倒す』

私は周りの人が留学へ行っていた関係で留学は身近な存在で、大学入学当時から修士で留学へ行きたいというプランがぼんやりとありました。入学から留学に行くまでの4年間、私がどのように留学への歩みを進めていったのかについてお話ししたいと思います。東工大には英語学習の機会や、海外の人と話すことのできる機会が多くあります。しかしそれらは基本的には自分からアクセスしないと使うことはできません。例えば、グローバル理工人育成コースに所属することで得られる、授業で留学生とディスカッションをする機会やe-learningで英会話レッスンが受けられる機会。グロ理以外でも、東工大に来ている留学生とのタンデムという言語交換の機会。このようにふんだんに転がっているこれらの機会を見つけたら目ざとくキャッチすること、それが自分のモチベーションを保つためにも必要だと思います。

次やろう、ではなく、今やろう。もちろん留学だって学部生の間に行っても良いのです。大事なのは機会を逃さないこと。やらなくても大丈夫だけど、やったら成長できるかもしれない、新しい知見が得られるかもしれない。そのスモールステップが自分のその後の選択につながっていきます。

コロナ禍もあり、修士で1年間の留学に行くまで留学プログラムに参加できなかった私ですが、学部生のときに行っていた取り組みや、それが留学にどのように生きていったのかについてお話しできればと思います。